

開催にあたり

# 天野裕夫

3年前に故郷大湫に戻り、昨年4月から産土の神明神社・白山神社の総代となったところ、7月に神明神社の大杉が倒れました。

大杉の倒伏後、どのように大杉を残し神社を復興していくのか、私を含む地元住民で話し合ってきました。様々な考え方がありますが大杉に対する敬愛の気持ちは共通しており、大杉の根元の一部は神社境内に末永く保存することが決まりました。

大杉を作品の素材として用いるようになったのは、平成24年に大杉の枯れた枝の伐採が行われ、この伐採木を譲り受けたことがきっかけでした。コブやうろのある大杉を削り出していくといつも想像を超えた木目が現れます。そして目の前にある素材に逆らわず、その存在感を活かした作品を制作してきました。

これからも、この偉大な樹の一部を少しでも多く後世に残し、その素晴らしさを伝えるのが役割と覚悟して取り組んでいます。



## プロフィール

- 1954 岐阜県瑞浪市大湫町に生まれる
- 1978 多摩美術大学大学院彫刻科修了
- 1984 第3回高村光太郎大賞展 彫刻の森美術館賞受賞
- 1986 第1回ロダン大賞展 美ヶ原高原美術館賞受賞
- 1988 '88 日本現代陶彫展 銀賞受賞
- 1994 第5回日本現代陶彫展'94入選
- 1996 第8回神戸具象彫刻大賞展 準大賞、神戸市民賞受賞  
第6回日本現代陶彫展'96金賞受賞
- 1997 女子美術大学工芸科非常勤講師に就任
- 1999 第2回ユーモア彫刻展'99大賞受賞
- 2002 第2回円空大賞展 知事賞受賞
- 2005 多摩美術大学工芸科客員教授に就任
- 2018 岐阜県瑞浪市大湫町に拠点を移す
- 2020 瑞浪北中学校への作品寄贈により紺綬褒章を受章

このほか、椿近代画廊、高島屋日本橋店、同大阪店、同京都店、JR名古屋タカシマヤなどで個展多数開催



① 堂堂鳥 w47×d43×h71cm 木・ブロンズ

② 虹の牛 w81×d20×h59cm 木・ブロンズ



## The Shape of Ookute Oosugi



③ 山龍 w70×d30×h34cm 木・ブロンズ

④ 天馬 w30×d7×h25cm 木・ブロンズ



⑤ 二面鳥 w55×d43×h59cm 木・ブロンズ

⑥ 兎塔 w42×d43×h60cm 木・ブロンズ

HIROO AMANO EXHIBITION